

乳製品需給等情報交換会議

日時：平成 29 年 7 月 28 日（金）13:30～14:45

場所：(独) 農畜産業振興機構 北館 6 階会議室

主な意見：

(日本乳業協会)

- ・ 脱脂粉乳の追加輸入によって、それらの価格は落ちついてきている。全国的にバター不足はない様子。猛暑の影響で、国産バターの生産量の減少が予想されるので、状況を注視していきたい。

(Jミルク)

- ・ 猛暑の影響で、生乳生産の減少が見込まれるが、業界として、一丸となって牛乳乳製品の安定供給に取り組んでいく。また、Jミルクが今年より実施している特別対策事業では乳牛の輸入以外にも様々な対策を実施していきたい。

(全日本洋菓子工業会)

- ・ 猛暑の影響で、バターの需給状況よりも洋菓子の売り上げの落ち込みを心配している状況。
- ・ 現時点では、バター不足の動きはないが、バターの需要期に向けて国産バターの安定供給をお願いしたい。

(全国菓子工業組合連合会)

- ・ 北海道の猛暑について、懸念している。猛暑によりバター等の需給に影響が出ないように対応をお願いしたい。

(日本洋菓子協会連合会)

- ・ 一昨年以降、バター需給は安定している。バターに仕向けられる生乳が増えることを期待している。

(中央酪農会議)

- ・ 都府県の生乳生産量は減少傾向にあるが、関東など伸びている地域もある。乳牛の増産対策（雌牛確保対策、育成牛対策等）を進めているので、中長期的には生乳生産は回復するのではないか。

(東宗谷農業協同組合)

- 様々な暑熱対策を行っているので、年度後半からは乳量が伸びると思うが、暑さがかなり厳しいので、更に工夫が必要。飼料用作物の生育や収穫状況については問題ない。

(ホクレン)

- 北海道での乳量を伸ばすため、去年は子牛が生まれる対策を実施したが、今年は下半期に向けて、親牛の乳量を増やす対策を進める。ALIC や国の支援を複合的に活用し、生産性を上げていきたい。

(全国消費者団体連絡会)

- バターは安定供給されていると思う。お1人様1個限りの表示が見られなくなっている。